

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 **恐竜研究者** その仕事や夢を選んだ理由
 恐竜の生態研究を 人類のよりよい生活に活かす

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
 大学院博士課程 海外留学 (英語力(論文、研究者同士のコミュニケーション))
 体力(発掘現場厳しい) コミュニケーション力(金) 留学費、発掘費用

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳	小学校 日本各地の博物館で恐竜などの化石を見学する 「MOVE」展鑑 石研究員の活動を通して、様々な科学に親しむ
13歳	中学校 部活動を通して、たくさんの友達を作る。
15歳	将来に向けて全ての教科の学力をつけておく。中でも特に英語が重要。
16歳	高校 海外の博物館にも足をのばし、より多くの化石を観察する。
18歳	英語の論文を含めた最新の石研究論文を発表。
19歳	大学 地球科学など恐竜の研究ができる大学へ進学。自分の研究
22歳	テーマを見つけるために知識を深め、発掘スキルを身につける。
23歳	アメリカなどの海外の大学院へ進学。最新の研究の場に身を置く
30歳	とともに世界中の恐竜研究者とめざまし人とコミュニケーションを取り
33歳	ながら数多くの発掘現場へ出向き系馬を積む。
40歳	博士課程を修了し、一人前の石研究者となり帰国。 新刊の恐竜発見ラジオや科学電話相談の回答者に。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
 書斎と大きな庭がある家に住む。休日はのんびり読書。
 自動車の免許を取り、日本全国色々な所をドライブする。
 50ヶ国以上外国に行き、名所写真を撮る。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。

未来につなげる恐竜研究

筑波大学附属小学校 五年 藤川 結翔

僕の夢は、恐竜研究者になることです。幼い頃から恐竜をこよなく愛してました。図鑑や絵本を夢中になって読み、実際の化石や標本を博物館などで観察したりして、漠然とした憧れを持っていました。その漠然とした憧れがよりハッキリとした目標に変わったのは、あるラジオ番組がきっかけでした。

僕が小学校一年生の時、コロナウイルスによる緊急事態宣言によって入学式は無く学校も4月には始まりませんでした。外で遊ぶこともできず退屈だった僕が楽しみにしていたのが、「子ども科学電話相談」というラジオ番組です。科学に関する様々な質問に、専門家の先生が詳しく丁寧に答えてくれるのですが、僕の恐竜についての質問が採用されてラジオで質問できることになりました。とても緊張したのですが、分かりやすく答えてくれただけではなく「この質問すくいと

いなあと思ってたんだよね」とほめてもらえて、とても嬉しかったことを今でもよく覚えています。こんな風に、恐竜やその時代の魅力をいろいろな人に伝えられるようになりたいと強く感じるようになりました。

恐竜研究者になって実現したいことの一つは、恐竜についての新しい発見をすることです。恐竜研究は、まさに現在進行形の研究です。まだまだ分からないことも多く、その分、新しい発見の可能性がたくさん残っているとも言えるでしょう。有名なティラノサウルスをとっても、「ゴジラ」のような直立二足歩行と思われていた立ち姿が変わったり、体全体が羽毛に覆われていたと考えられたり(現在では体の一部が羽毛だったと考えられています)と、その時の研究の成果によって大きく印象が変わってきました。日本でも次々に発見されている「新種」を

発見したいという野望もあります。もう一つは、恐竜の進化や絶滅など、その生態を明らかにすることです。「そんな過去の生物を研究しても…」という人もいるかもしれませんが、現在は第六の大量絶滅期と言われており、しかもその絶滅の理由の大半が人類だとされています。かつて地球上でその頂点に君臨していた恐竜が、どのように進化しそして絶滅していったのかを研究することは、「第六の大量絶滅」を少しでも食い止めることにつながるのではないかと僕は考えています。

恐竜化石の発掘には、たくさんの人の力が必要です。また、その発掘現場は日本だけでなく世界各地に広がっています。将来の僕が、世界のいろいろな国の人たちと一緒に、世界のどこかで岩と格闘しながら、まだ見ぬ恐竜たちへの想いを馳せていられるように、目の前のハードルを一つ一つクリアしていきたいと思えます。それがきつくと、自分自身や人類が、幸せに暮らせることにもつながっていると信じて…。